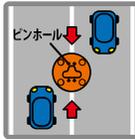


施工方法

設置の向き

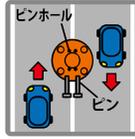
ポストフレックス



ポストフレックスは凸面と平面のどちらが正面でも耐久性は変わりません。

※ポスト平面の向きを道路と垂直に設置して下さい。

ラウンドポスト

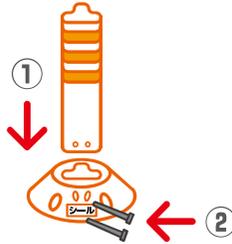


ラウンドポストはピンの向きを道路に平行にして施工して下さい。

どちらが正面でも耐久性は変わりません。

ポストフレックスの組立方法

- ①ベースにポストを差し込みます。
- ②平面（シール）側からピンを打ち込んで下さい。



接着剤の使用方法

主剤と硬化剤を良く混ぜて下さい。



※かはん不足は硬化不良の原因となります。色が均一になるまで、十分にかけ混ぜて下さい。



施工上のご注意

- ・接着剤の使用容量は必ずお守り下さい。
- ・区画線上に設置する場合や、高さが1000mmを超えるものは接着剤とアンカーを併用して下さい。
- ・施工箇所がコンクリート下地の場合は、コンクリートアンカーをご使用下さい。
- ・降雨時、降雪時、又は気温が5℃以下での施工は、接着剤が硬化しない恐れがあります。寒期には速乾性接着剤をご利用ください。

接着剤での施工方法



ベースの周りをチョークで囲み、接着剤を塗布する範囲を決めます。

接着剤を下記の使用量を参考に、設置位置に塗布します。

ポストの向きを確認し、ベースをしっかりと押しつけます。接着剤が硬化したら完成です。



接着剤+アンカーの施工方法



ベースの周りをチョークで囲み、接着剤を塗布する範囲を決めます。

ベースを抑え、ホール位置にドリルで穴を開けます。

一度ベースを外し、接着剤を下記の使用量を参考に、設置位置に塗布します。

使用道具→ハンマードリル
アスファルト用→φ6.5mm
コンクリート用→φ7.5mm

※コンクリートアンカーの場合は、接着剤なしでも施工可能です。

穴の位置を確認し、アンカーを差し込みます。10mmの六角ソケットでアンカーを締め、完成です。



対象製品



ポストフレックス 接着剤量 (排水性舗装の接着剤量)

スタンダードタイプ 300g (360g)

スリムベースタイプ 300g (360g)



ラウンドポスト 接着剤量 (排水性舗装の接着剤量)

200台座 接着固定タイプ 330g (400g)

250台座 接着固定タイプ 350g (420g)



ソフトデリネーター 接着剤量 (排水性舗装の接着剤量)

300g (360g)

着脱一本脚の施工方法



ラウンドポスト、接着剤、チョークを用意します。



ピンの向きを道路と平行に設置して下さい。設置する位置を決め、穴を開けます。主剤と硬化剤を十分に混ぜ合わせ、1箇所あたり200gを穴に流し込みます。接着剤の量は穴の70%が目安です。



ベースに剥離シートが付いているか確認します。(剥離シートなしで施工した場合、硬化後着脱が出来ません。)ポストを差し込み、押し付けます。



接着剤が硬化したら、一度ラウンドポストをはずし、保護シートをはがします。しっかりと締めて完成です。



ポストフレックス 接着剤量 (排水性舗装の接着剤量)

一本脚タイプ 200g (240g)



ラウンドポスト 接着剤量 (排水性舗装の接着剤量)

200台座 着脱一本脚タイプ 200g (240g)

250台座 着脱一本脚タイプ 200g (240g)

小径台座タイプ 200g (240g)

着脱三本脚の施工方法



ラウンドポスト、接着剤、チョーク、削孔ドリル、17mmのメガネ（ラチェット）発電機を用意します。



三本脚アンカーをベース部に固定し位置をマーキングします。

※ピンの向きを道路と平行に設置して下さい。



削孔ドリルでマーキング箇所に、φ40mm、深さ60mmの穴を開けます。1箇所あたり120gを穴に流し込みます。接着剤の量は穴の70%が目安です。



穴の位置に合わせて、ポストを設置します。接着剤が硬化したら、ボルトをしっかりと締めて完成です。



ラウンドポスト 接着剤量 (排水性舗装の接着剤量)

250台座 着脱三本脚タイプ 360g (450g)

アンカー1箇所当たり 120g (150g)